

平成 27 年度 第一薬科大学

動物実験に関する自己点検・評価報告書

平成 28 年 4 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果

- 基本指針に適合する機関内規程が定められている。
- 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 機関内規程が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

第一薬科大学実験動物施設管理運営委員会規程

第一薬科大学動物実験指針

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

文科省の指針に沿って、機関内規定が適正に定められている。

4) 改善の方針、達成予定期

該当なし

2. 動物実験委員会

1) 評価結果

- 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。
- 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験委員会は置かれていない。

2) 自己点検の対象とした資料

第一薬科大学実験動物施設管理運営委員会規程

第一薬科大学動物実験指針

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

第一薬科大学動物実験指針に基づいて設置されている。

4) 改善の方針、達成予定期

該当なし

3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

第一薬科大学実験動物施設管理運営委員会規程

第一薬科大学動物実験指針

第一薬科大学実験動物施設利用の手引き

動物実験許可申請書

動物実験計画書

動物実験計画書審査結果通知書

動物実験成果報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められている。

4) 改善の方針、達成予定期

該当なし

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

4) 改善の方針、達成予定期

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

第一薬科大学実験動物施設管理運営委員会規程

第一薬科大学動物実験指針

第一薬科大学実験動物施設利用の手引き

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

規程、実験指針、利用の手引に基づき、実験動物施設管理運営委員会委員長を置き、各研究室の主任教授が実験動物管理者として役割を担っている。

4) 改善の方針、達成予定期

該当なし

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

該当なし

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

（動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

第一薬科大学実験動物施設管理運営委員会規程

第一薬科大学動物実験指針

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

委員会構成メンバーに、その他の学識経験を有する者が入っていない。

4) 改善の方針、達成予定期

他の学識経験を有する教員を委員とする。28年4月

2. 動物実験の実施状況

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか？）

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

第一薬科大学実験動物施設管理運営委員会規程

第一薬科大学動物実験指針

動物実験許可申請書

動物実験計画書
動物実験計画書審査結果通知書
動物実験成果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
動物実験計画書は、規定に基づき適切に提出、審査、承認されている。
4) 改善の方針、達成予定期
該当なし。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果
■ 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
□ 多くの改善すべき問題がある。
□ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料
第一薬科大学実験動物施設管理運営委員会規程
第一薬科大学動物実験指針
第一薬科大学実験動物施設利用の手引き
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）
特に安全管理を要する感染実験、放射性同位元素使用実験、発癌実験などは行われていない。
4) 改善の方針、達成予定期
該当なし

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か？ 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか？)

1) 評価結果
■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
□ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
□ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料
第一薬科大学実験動物施設管理運営委員会規程
第一薬科大学動物実験指針
第一薬科大学実験動物施設利用の手引き

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物実験指針、実験動物施設利用の手引きに従い、動物飼育が行われている。利用者に対する教育訓練は毎年一回講習会を開催し指導している。

4) 改善の方針、達成予定期

該当なし

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか？ 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

第一薬科大学実験動物施設管理運営委員会規程

第一薬科大学動物実験指針

第一薬科大学実験動物施設利用の手引き

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

実験動物施設管理運営委員が定期的に巡回点検し、維持管理に努めている。

4) 改善の方針、達成予定期

該当なし

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

平成 27 年度第一薬科大学動物実験教育訓練講習会資料

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

平成 27 年 5 月 16 日に動物実験教育訓練講習会を実施した。本講習会には、実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者も参加している。受講者は学部学生 19 名、本学教職員 6 名であった。

4) 改善の方針、達成予定期

該当なし

7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

第一薬科大学 動物実験に関する自己点検・評価報告書

第一薬科大学ホームページ

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

動物実験に関する自己点検・評価報告書・情報を本年度中に大学ホームページにアップする。

4) 改善の方針、達成予定期

該当なし

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特になし